

令和4年度 教職員研修の基本方針

— 子どもの未来のために —

コロナ禍の中で小中高生の自殺者数が国内過去最多となり、どの子どもにとってもウェルビーイングが感じられる居場所をつくることが喫緊の課題となっている。このような状況においても、私たち教職員は、子どもが夢に向かって自らの人生を切り拓くことができるように、自己の存在意義を感じて、主体的に学んだり多様な他者と協働したりする教育活動を展開していくことが求められている。

また、子どもの状況を的確に捉え、適切な指導や対応をするために、常に研鑽に努め、資質を高めたり能力を向上させたりしていかなければならない。

一方、近年の大量退職、大量採用の影響により、かつてのように先輩から若手への知識・技能の伝承を円滑に図ることのできない状況が起きており、教職員が学び続けていけるように継続的な研修を充実させていく必要がある。

また、個別最適な学びと協働的な学び、ICTの活用、学校における働き方改革が推し進められている中、校内研修を工夫し、充実させていくことも重要と考える。

そこで、「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成」という基本理念の実現に向けて、名古屋市教員育成指標に位置付けた資質・能力を基に研修体系を整備するとともに、教職員が自ら学ぶ姿勢を持ち続けるために、キャリアステージや職務等に応じた各種研修や校内研修支援を実施し、自主的な研修の促進・補完に寄与するように努める。

令和4年度 育成指標に基づいた研修の重点

教職員の健康に配慮しつつ、主体的に学び続ける教職員研修を実施する

①個別最適・協働的な学びへの対応 ②ICT活用への対応 ③「理念」※の周知・理解

※「一人ひとりの人生の基盤としての理念」

1 豊かな人間性や教職に対する使命感を養うための支援（素養）

- ・ 心的ストレスの解消と自らをマネジメントする方法や、ハラスメントに関する正しい知識と適切な対処方法について学ぶことで、自己管理する力や信頼関係を築く力を培う。
(資料1-1・2・3・4 自己管理力)
- ・ 児童生徒に対する人権や、障害のある子どもへの合理的配慮について学ぶことで、多様性についての理解を深めることができるようにする。③
(資料1-1・2・3・4 人権意識の醸成・推進)

2 的確な幼児児童生徒理解力を培うための支援（児童生徒理解）

- ・ hyper-QUの結果を基に、SCやSSWと連携した校内の事例検討会を進める方法について学ぶことで、児童生徒が抱えている様々な課題に対する理解を深めることができるようにする。③
(資料1-1・3・4 子ども理解) (資料2-1・3・4 同僚性)
- ・ 障害のある子どもの特性や、個別の対応・支援の在り方について学ぶことで、障害のある子どもへの理解を深めることができるようにする。③
(資料1-1・3・4 特別支援教育に対する理解)

3 学習指導や集団づくりにおける実践的指導力を高めるための支援

(1) 学習指導

- ・ 先進校・研究校の事例を参考にした学習の進め方や新たな評価観に基づく授業の在り方について学ぶことで、実践的指導力の向上を図る。
(資料1-1 授業構成・授業展開・授業評価) ①
- ・ 各教科におけるICTを効果的に活用した指導法を学んだり、個別最適な学びと協働的な学びを実現するための授業の在り方について学んだりすることで、実践的指導力の向上を図る。①②
(資料1-1 授業構成・授業展開・授業評価)

(2) 集団経営

- ・ 子どもに対する見方・捉え方を広げる教育相談の在り方や、一人一人に活躍の場を与える学級経営の在り方について学ぶことで、集団づくりにおける実践的指導力を培う。③
(資料1-1 経営・生徒指導)

4 専門性に基づいた実践力を高めるための支援（固有の力）

- ・ 保健教育の具体的な指導法を学ぶことで、養護教諭としての実践力を身に付けることができるようにする。①
(資料1-3 指導力)
- ・ 食に関する具体的な指導方法を学ぶことで、栄養教諭としての実践力を身に付けることができるようにする。
(資料1-4 指導力)

5 組織の一員として学校力を高める力を培うための支援（マネジメント）

- ・ 学校・学年経営、人材育成、配慮を要する子どもの支援体制等について中堅教員が中心に学ぶことで、学校の中核を担う教員として連携・協働する力を培う。
(資料1-1・3・4 同僚性)
- ・ 働き方改革の実現に向けた職場づくりや、ICTを核にした教職員の学ぶ意識を高める職場づくりの在り方について学ぶことで、学校組織をマネジメントする力を培う。
(資料1-2 学校園経営) (資料1-1・3・4 同僚性)

名古屋市教員育成指標（教諭版）

※ キャリアステージは、自分の教員経験や校内での立場を考慮して自分で選択する。

資質 能力	ステージ 視点	名古屋市の求める 善任時の姿	教員としての 基礎を培う 段階	教員としての 専門性を高める 段階	教員としての 協働性を高める 段階	教員として 広い視野で様々な 役割を果たす 段階
求められる 資質や能力	素養	自己管理能力	教員としての適性を常に意識しながら、教職に対する使命感を高める。	・服務規律を遵守する、規範意識をもつなどの自己を管理する力		
		人権意識の醸成		・人権に対する知識や偏見・差別に気付く感覚など、人権を尊重できる意識の醸成		
		学び続ける意欲		・新たな教育課題を発見・設定し、解決策を探索する意欲		
		コミュニケーション力		・相手の思いをくみ取り、積極的にコミュニケーションする力		
	児童生徒理解力	子ども理解	一人一人の児童生徒に対して愛情をもって接する意識を高くもち、児童生徒を共感的に理解することの大切さや合理的配慮の意義について実感を伴って理解している。	・学級の児童生徒の家庭環境や交友関係等の把握と対応	・学級・学年の児童生徒の家庭環境や交友関係等の把握と対応	・学級・学年・学校の児童生徒の家庭環境や交友関係等の把握と対応
		子どもと向き合う姿勢		・どの児童生徒に対しても公平・公正に、愛情をもって接する態度		
		特別支援教育に対する理解		・配慮を要する児童生徒と学級・学年集団への適切な指導・支援 ・個別的教育支援計画、指導計画の実行に向けた連絡・調整		
	学習指導力	授業構成	実践的指導力の基礎となる知識、技能を習得し、体験を通して、授業づくりや授業の進め方等について理解している。	・主体的・対話的な授業づくりの推進		
		授業展開		・ねらいに応じた授業づくり	・学校教育目標を踏まえた授業づくり	
		授業評価		・ねらいに応じた学習指導の充実	・ねらいと個に応じた学習指導の充実	
				・日々の授業反省を生かした学習指導の改善	・単元全体を見通した学習指導の工夫改善	・校内外の教員が行う授業に対する適切な授業分析 ・校内外の授業改善に向けた働き掛け ・校内の授業力向上に向けた働き掛け
	集団経営力	経営	学級・学年単位での集団づくりの基礎や、生徒指導の基礎について具体的に理解している。	・安心・安全に過ごせる温かい学級づくり	・安心・安全に過ごせ、互いを認め合う温かい学級・学年づくり	
		生徒指導		・よりよい人間関係づくり、集団づくり	・よりよい人間関係づくり、集団づくりへの支援	
	マネジメント力	家庭・地域・関係機関との連携	組織の一員として同僚や外部（保護者、地域）との連携・協働、安心・安全な学校生活について実感を伴って理解している。	・家庭・地域・関係機関との適切な情報共有と共通理解	・家庭・地域・関係機関との円滑な連携	・家庭・地域・関係機関との調整役としての貢献
		同僚性		・職場の一員として共に協力しようとする意識と行動	・調整役としての学校運営への参画	・教職員間の調整役としての積極的な貢献
				・学年経営への貢献	・学年・学校の強みを活かした学校教育目標の具体化	・若手・ミドルリーダーの立てた具体策に対する幅広い見地からの助言
		危機管理		・安全配慮義務についての理解と迅速な対応 ・「報告・連絡・相談」による課題解決	・事故等発生時の迅速かつ適切な対応	・事故等発生時の迅速かつ適切かつ組織的な対応

※基礎を培う段階はおおよそ1～5年目、専門性を高める段階はおおよそ6～10年目、協働性を高める段階はおおよそ11～25年目、広い視野で様々な役割を果たす段階はおおよそ26年目以上を目安にするとよい。

名古屋市教員育成指標(管理職版)

ステージ 資質能力	視点	教頭期	校（園）長期
		学校の経営ビジョンを実現するための調整力を高める段階	学校園の経営ビジョンを示し、リーダーシップを発揮する段階
求められる資質や能力	素養	自己管理能力	・服務規律を遵守する、メンタルヘルスやハラスメントに関する正しい知識と適切な対処方法をもつなどの自己を管理する力
		人権教育の推進	・人権に対する深い知識や偏見・差別を認めない姿勢をもって、教職員に指導できる力
		学び続ける意欲	・新たな教育課題を発見・設定し、解決策を探究する意欲と、多様な学びを啓発できる力
		人間関係調整力	・相手の思いをくみ取り、教職員や保護者、地域等と積極的にコミュニケーションし、信頼関係を築く力
	マネジメント力	学校園経営	・学校の実状や課題を踏まえた上でのビジョン策定に向けた進言
			・学校の実状や課題を分析・把握し、将来を見据えたビジョンの策定
			・ビジョンの実現に向けた、校務の効率化
			・ビジョンの実現に向けた、校務の効率化
			・社会に開かれた教育課程の編成に関わる進言
			・社会に開かれた教育課程の編成・管理
			・特別支援教育の推進に向けた体制づくりと環境整備
			・ビジョンの実現に向けた特別支援教育の推進
			・学校園経営の効果や課題についての検証・改善に関わる進言
			・学校園経営の検証を受けた次年度以降の方向性の確立
			・教職員の心身の健康状態の把握と多忙化解消に向けた働き掛け
			・教職員の多忙化解消に向けたビジョンの明確化
			・法令や事例等を基にした適切な労務管理
			・法令や事例等を熟知した上での適切な労務管理
		人材育成	・全職員の勤務状況を把握し、個々の職員の適正や能力に合わせた指導助言
			・個々の適正や能力に応じた分掌の配置
			・教職員評価に基づく職場環境の活性化
		家庭・地域・関係機関との連携	・家庭や地域、関係機関等からの情報収集・分析と適切な対応・交渉
			・開かれた学校を意識した、保護者や地域に向けての学校園経営に関する情報の発信
			・ビジョンとその実現に向けた方策の明確な説明
		財務管理	・開かれた学校を意識した、保護者や地域に向けての学校園経営に関する情報の発信
			・学校園経営に関する情報の発信に向けた指導助言
			・就学指導における適切な対応
			・就学指導に対する指導助言
		危機管理	・教職員と連携した施設・設備の充実と安全管理
			・施設・設備の充実と安全管理に対する指導助言
			・事務職員と連携した公金の適正管理、諸帳簿等の整理
			・公金管理、諸帳簿整理に対する指導助言
		危機管理	・健康課題の解決に向けた協力体制づくり
			・健康課題の解決に向けたビジョンの明確化
			・防災や学校安全に関する法令や事例、マニュアル等を基にした適切な危機管理
			・防災や学校安全に関する法令や事例、マニュアル等を熟知した上での適切な危機管理
			・生徒指導上の問題に対する適切で迅速な連絡調整
			・生徒指導上の問題に対する適切で迅速な判断

※ キャリアステージは、自分の教員経験や校内での立場を考慮して自分で選択する。

資質能力		ステージ 視点	名古屋市の求める 着任時の姿	教員としての 基礎を培う 段階	教員としての 専門性を高める 段階	教員としての 協働性を高める 段階	教員として 広い視野で様々な 役割を果たす 段階	
求められる 資質や能力	素養	自己管理能力	教員としての適性を常に意識しながら、教職に対する使命感を高める。	・服務規律を遵守する、規範意識をもつなどの自己を管理する力				
		人権意識の醸成		・人権に対する知識や偏見・差別に気付く感覚など、人権を尊重できる意識の醸成				
		学び続ける意欲		・新たな教育課題を発見・設定し、解決策を探索する意欲				
		コミュニケーション力		・相手の思いをくみ取り、積極的にコミュニケーションする力				
	児童生徒理解力	子ども理解	一人一人の児童生徒に対して愛情をもって接する意識を高くもち、児童生徒を共感的に理解することの大切さや合理的配慮の意義について実感を伴って理解している。	・児童生徒の発達上の課題や心身の健康状態などの把握と対応 ・児童生徒の理解を深める校内での情報共有の場づくり				
		子どもと向き合う姿勢		・どの児童生徒に対しても公平・公正に、愛情をもって接する態度				
		特別支援教育に対する理解		・配慮を要する児童生徒への適切な指導・支援 ・全教員の個別的教育支援計画、指導計画の策定への協力				
	養護教諭固有の力	保健教育	指導力	学校における保健教育の意義を理解し、個や集団を対象に取り組もうとする。	・健康課題を捉え、保健指導計画の作成への参画 ・学習指導要領の内容の理解 ・学習指導案の形式の理解と立案	・健康課題を捉え、保健指導計画の作成と実践 ・ねらいに応じた授業づくり	・保健教育におけるコーディネーターの役割 ・実践に基づく評価と改善	・社会に開かれた教育課程の中での保健教育の位置付けに向けた働き掛け ・保健教育の実践への指導助言
		健康相談	健康課題への対応力	学校保健安全法による健康相談の位置付けを理解し、養護教諭として対応しようとする。	・早期発見、早期対応に向けた心身の健康課題の把握 ・健康相談のプロセスの理解と対応		・健康相談におけるコーディネーターの役割	・教職員が行う健康相談に対しての助言 ・関係諸機関を含めた支援体制づくり
		保健管理	心身の健康管理をする力	救急処置、健康診断、疾病予防などの保健管理に関する基礎的な知識と技術を身に付け、実践しようとする。	・けがや疾病に対しての的確な判断と迅速な対応		・けがの防止や疾病予防の組織的な推進	
					・健康診断や健康観察の結果に基づく、健康課題への対応	・保健管理の充実に向け、校内での中心的役割		・保健管理の充実に向け、関係諸機関との協力体制の確立
		保健室経営	経営力	養護教諭の役割と保健室の機能を理解し、実践しようとする。	・保健室経営計画の作成と校内での共通理解	・学校保健活動のセンター的役割を果たす保健室経営の工夫と改善		・保健室経営の立場からの学校運営への参画
		保健組織活動	連携・協働する力	学校保健委員会など、様々な保健組織の意義を理解し、積極的に関わろうとする。	・保健主事とともに保健組織活動の計画、実施	・保健組織活動を主体的に計画、実施	・保健組織活動への教職員の主体的な参加に向けた働き掛け	・地域レベルでの保健組織活動の推進
	マネジメント力	家庭・地域・関係機関との連携	組織の一員として同僚や外部（家庭、地域）との連携・協働、安全・安心な学校生活について実感を伴って理解している。	・家庭・地域・関係機関との適切な情報共有と共通理解		・家庭・地域・関係機関との円滑な連携	・家庭・地域・関係機関との調整役としての貢献	
		同僚性		・職場の一員として共に協力しようとする意識と行動	・調整役としての学校運営への参画		・教職員間の調整役としての積極的な貢献	
					・養護教諭の専門性や保健室の機能を活かした学校教育目標の具体化		・若手やミドルリーダーの立てた具体策に対する幅広い見地からの助言	
					・学校運営への参画を意識した管理職への意見具申			
	危機管理		・安全配慮義務についての理解と迅速な対応 ・「報告・連絡・相談」による課題解決	・問題行動・事故等発生時の迅速かつ適切な対応		・問題行動・事故等発生時の迅速かつ適切かつ組織的な対応		

※基礎を培う段階はおおよそ１～５年目、専門性を高める段階はおおよそ６～１０年目、協働性を高める段階はおおよそ１１～２５年目、広い視野で様々な役割を果たす段階はおおよそ２６年目以上を目安にするとよい。

※ キャリアステージは、自分の教員経験や校内での立場を考慮して自分で選択する。

資質能力		ステージ		名古屋市の求める 着任時の姿	教員としての 基礎を培う 段階				教員としての 専門性を高める 段階		教員としての 協働性を高める 段階		教員として 広い視野で様々な 役割を果たす 段階		
		視点													
求められる資質や能力	素養	自己管理能力		教員としての適性を常に意識しながら、教職に対する使命感を高める。	・服務規律を遵守する、規範意識をもつなどの自己を管理する力										
		人権意識の醸成			・人権に対する知識や偏見・差別に気付く感覚など、人権を尊重できる意識の醸成										
		学び続ける意欲			・新たな教育課題を発見・設定し、解決策を探索する意欲										
		コミュニケーション力			・相手の思いをくみ取り、積極的にコミュニケーションする力										
	児童生徒理解力	子ども理解		一人一人の児童生徒に対して愛情をもって接する意識を高くもち、児童生徒を共感的に理解することの大切さや合理的配慮の意義について理解している。	・児童生徒の健康状態などの把握と対応 ・児童生徒の理解を深める校内での情報共有の場づくり										
		子どもと向き合う姿勢			・どの児童生徒に対しても公平・公正に、愛情をもって接する態度										
		特別支援教育に対する理解			・配慮を要する児童生徒への適切な指導・支援										
	栄養教諭固有の力	食に関する指導	指導力	食に関する指導の推進における栄養教諭の役割及び学校組織・運営、校務分掌を理解し、栄養教諭の専門性を活かした指導をしようとしている。	・食に関する指導計画の立案と実践及び評価、改善										
					・教職員と連携を図った食に関する指導の実践				・食に関する指導体制の整備		・地域性を生かした食育の計画や推進への主体的な関わり				
			・児童生徒の実態を踏まえた授業づくり ・学校給食を活用した指導内容の充実						・食に関する指導に対する適切な授業分析						
			健康課題への対応力		・教職員と連携を図った児童生徒の食に関する健康課題などについての個別的な相談指導（食物アレルギー・偏食・肥満・疾病等）の実践						・学校医等と連携するなどの相談指導体制の整備と児童生徒の食に関する健康課題などについての適切な対応				
		給食管理	栄養管理能力	学校給食の管理における栄養教諭の役割及び学校組織・運営、校務分掌を理解し、栄養教諭の専門性を活かした実践をしようとしている。	・学校給食栄養摂取基準に基づいた食品構成に考慮した献立の作成				・給食管理と食に関する指導を一体化した視点での献立作成 ・児童生徒の成長の特性や地域の実態などに基づいた適切な栄養管理		・学校給食における献立作成や調理、配食及び施設設備に関する全市的視野での指導的役割 ・食に関する指導に生かすための情報を全教職員に提供、助言				
					・学校給食の調理、配食及び施設設備に関する指導助言										
			衛生管理能力		・名古屋市「学校給食における衛生管理と安全の手びき」に基づいた、調理従事者の衛生、施設設備の衛生、及び食品衛生の適性を期するための日常点検の実施及び助言				・衛生管理についての日常的な評価、改善、及び、学級における衛生管理への適切な指導助言		・衛生管理に関する全市的視野での指導助言				
		マネジメント力	家庭・地域・関係機関との連携		組織の一員として同僚や外部（家庭、地域）との連携・協働、安全・安心な学校生活について実感を伴って理解している。	・家庭・地域・関係機関との適切な情報共有と共通理解				・家庭・地域・関係機関との円滑な連携		・家庭・地域・関係機関との調整役としての貢献			
			同僚性	・職場の一員として共に協力しようとする意識と行動		・調整役としての学校運営への参画				・教職員間の調整役としての積極的な貢献					
	・栄養教諭の専門性を活かした学校教育目標の具体化					・若手やミドルリーダーの立てた具体策に対する幅広い見地からの助言									
	・学校運営への参画を意識した管理職への意見具申														
	危機管理		・安全配慮義務についての理解と迅速な対応 ・「報告・連絡・相談」による課題解決			・事故等発生時の迅速かつ適切な対応		・事故等発生時の迅速かつ適切かつ組織的な対応							

※基礎を培う段階はおおよそ1～5年目、専門性を高める段階はおおよそ6～10年目、協働性を高める段階はおおよそ11～25年目、広い視野で様々な役割を果たす段階はおおよそ26年目以上を目安にするとよい。

教員のキャリアステージに応じた研修体系(教諭版)

						キャリアステージ (自分の経験や校内での立場を考慮して自分で選択する)			
						教員としての 基礎を培う 段階	教員としての 専門性を高める 段階	教員としての 協働性を高める 段階	教員として 広い視野で様々な 役割を果たす 段階
求 め ら れ る 資 質 や 能 力	素養	児童 理解 力	生徒 指導 力	学習 指導 力	集団 経営 力	マ ネ ジ ン グ カ メ	◎初任研	◎5年研	◎10年研
	●	●	★	●	●		・生徒指導研修会	・教育相談研修会	
		●		●			・情報教育担当者研修会		
			★		●			・特別支援教育コーディネーター研修会	
		●			●				
	●	●	●	●			・特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室新規担当教員研修会		
	●	●	●				・特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室教員研修会		
		●	●				・幼稚園教育研修会 (幼児教育支援室が実施)		
	●						・人権教育研修		
			★				・アイデアいっぱい!楽しい授業づくり講座	・コンピュータ講座 [C II]	
			★				・コンピュータ講座 [C I]		
			●					・高等学校学びの変革研修	
		●	●	●			・高等学校各科研修講座	・高等学校探究セミナー	
	●	●	●	●	●			・ミドルリーダー研修	
		●						・OJTで進める教育相談講座	
		●	●				・特別支援学校授業 づくり講座		
		●		●			・若手教員のための学級 集団づくり講座		
		●		●				・教育相談基礎講座	
		●		●	●			・教育相談発展講座 (教育相談基礎講座を修了した者)	
			★				・特別支援学校・特別支援学級指導法講座		
		●					・個別の指導・支援推進講座		
		●					・発達障害のある子どもの理解と支援講座		
		●			●	●		・特別支援教育推進講座	
	●	●	●		●		・日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座		
		●	●	●				・幼年教育研修講座 (幼児教育支援室が実施)	
		●	●	●	●			・特別支援教育専門研修	
	●		●		●			・教育研究員	
	●				●			・長期社会体験研修	
					●			・生涯学習研修	
	●		●		●		・若手教員海外派遣研修		
		●	●	●	●			・教職大学院派遣研修 (5年目～)	
		●	●				・教師力 フォローアップ		
	●	●	●	●	●		・教員免許状更新講習 (更新対象者のみ)		

★はICTに関わる研修

※基礎を培う段階はおよそ1～5年目、専門性を高める段階はおよそ6～10年目、協働性を高める段階はおよそ11～25年目、広い視野で様々な役割を果たす段階はおよそ26年目以上を目安にするとよい。

教員のキャリアステージに応じた研修体系(管理職版)

キャリアステージ（自分の経験や校内での立場を考慮して自分で選択する）		
求められる資質や能力	素養	マネジメント
	教頭期	
	校（園）長期	
	学校の経営ビジョンを実現するための調整力を高める段階	
	学校園の経営ビジョンを示し、リーダーシップを発揮する段階	
	●	●
	◎新任教頭研修 ◎2年目教頭研修 ◎新任校（園）長研修 ◎2年目校（園）長研修	
	・教頭研修会 ・校（園）長研修会	
	・管理監督者のためのメンタルヘルス研修(教頭) ・管理監督者のためのメンタルヘルス研修(校長)	
	・人権教育研修	
	・発達障害のある子どもの理解と支援講座	
	・日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座	
	・情報機器等の運営・管理講座	

教員のキャリアステージに応じた研修体系(養護教諭版)

					キャリアステージ（自分の経験や校内での立場を考慮して自分で選択する）			
求められる 資質や能力	素養	児童 理解 力 徒	固養 有護 の教 力諭	マ ネ ジ ト カ メ	教員としての 基礎を培う 段階	教員としての 専門性を高める 段階	教員としての 協働性を高める 段階	教員として 広い視野で様々な 役割を果たす 段階
	●	●	★	●	◎新採養護研	◎養護5年研	◎養護10年研	
		●			・教育相談研修会			
		●		●	・特別支援教育コーディネーター研修会			
	●				・人権教育研修			
			★		・アイデアいっぱい！楽しい授業づくり講座 ・コンピュータ講座〔CⅡ〕			
			★	●	・コンピュータ講座〔CⅠ〕			
		●	●		・高等学校各科研修講座			
	●	●	●	●	・ミドルリーダー研修			
		●			・OJTで進める教育相談講座			
		●	●		・教育相談基礎講座			
		●	●	●	・教育相談発展講座（教育相談基礎講座を修了した者）			
		●	●		・発達障害のある子どもの理解と支援講座			
		●	●	●	・特別支援教育推進講座			
		●	●	●	・学校保健研修講座			
	●		●	●	・教育研究員			
	●			●	・長期社会体験研修			
	●		●	●	・若手教員海外派遣研修			
		●	●	●	・教職大学院派遣研修（5年目～）			
	●	●	●	●	・教員免許状更新講習（更新対象者のみ）			

★はICTに関わる研修

※基礎を培う段階はおよそ1～5年目、専門性を高める段階はおよそ6～10年目、協働性を高める段階はおよそ11～25年目、広い視野で様々な役割を果たす段階はおよそ26年目以上を目安にするとよい。

教員のキャリアステージに応じた研修体系(栄養教諭版)

キャリアステージ (自分の経験や校内での立場を考慮して自分で選択する)				
求められる 資質や能力	素養	児童理解力	栄養の教諭	マネジメント力
	●	●	★	●
			●	●
	●			
			★	
			★	●
	●	●	●	●
		●		
		●		●
		●	●	
	●		●	●
	●			●
	●		●	●
	●	●	●	●
◎新採栄養研 ◎栄養5年研 ◎栄養10年研				
・栄養教員・学校栄養職員研修会				
・人権教育研修				
・アイデアいっぱい！楽しい授業づくり講座 ・コンピュータ講座〔CⅡ〕				
・コンピュータ講座〔CⅠ〕				
・ミドルリーダー研修				
・教育相談基礎講座				
・教育相談発展講座 (教育相談基礎講座を修了した者)				
・発達障害のある子どもの理解と支援講座				
・教育研究員				
・長期社会体験研修				
・若手教員海外派遣研修				
・教員免許状更新講習 (更新対象者のみ)				

★はICTに関わる研修

※基礎を培う段階はおよそ1～5年目、専門性を高める段階はおよそ6～10年目、協働性を高める段階はおよそ11～25年目、広い視野で様々な役割を果たす段階はおよそ26年目以上を目安にするとよい。

ICTを活用した学習指導力等をもめる研修

活用 能力	セ ン タ ー 研 修			校 内 研 修	自 主 研 修
	悉皆研修		応募研修		
I C T 機 器 の 取 扱	【情報教育担当者研修会】 ・タブレットの基本的な操作やソフトウェアの使い方等（講義）		【情報機器等の運用・管理講座】 ・タブレットの基本的な操作やソフトウェアの使い方等（講義）	【コンピュータ講座】 ・タブレットの基本的な操作やソフトウェアの使い方等（講義、演習）	【ユニット・オーダー研修】 ・タブレットの基本的な操作やソフトウェアの使い方等（講義、演習）
	【情報機器等の運用・管理講座】 ・タブレットの基本的な操作やソフトウェアの使い方等（講義）		【コンピュータ講座】 ・タブレットの基本的な操作やソフトウェアの使い方等（講義、演習）	【ユニット・オーダー研修】 ・タブレットの基本的な操作やソフトウェアの使い方等（講義、演習）	【くすのきネットなごやHP（校務用）】 ・タブレット及び導入ソフトQ & A 【くすのきネットなごやHP（教員用）】 ・タブレット導入ソフトウェア等マニュアル
学 習 指 導	【初任者研修】 ・ I C T を活用した個別最適な学び、協働的な学びの方法（講義）	【5 年目研修】 ・ I C T を活用した1 時間における教科等の学習方法（講義、協議、演習）	【1 0 年目研修】 ・ I C T を活用した単元全体における教科等の学習方法（講義、協議、演習）	【アイデアいっぱい！楽しい授業づくり講座】 ・ I C T を活用した個別最適な学び、協働的な学びの方法（講義） 【特別支援学校、特別支援学級指導法講座】 ・学校の要望に応じた I C T を活用した教科等の学習方法（講義、演習） 【日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座】 ・ I C T を活用した指導事例（講義、協議、演習） 【コンピュータ講座】 ・個別、協働学習ソフトを活用した授業の進め方（講義、演習） ・小学校プログラミング教育を取り入れた指導事例や授業の進め方（講義、演習） 【高等学校 I C T ・ネットワーク研修講座】 ・各校の教育活動に適応した I C T 活用の在り方（講義、演習）	【ユニット・オーダー研修】 ・ I C T を活用した個別最適な学び、協働的な学びの方法（講義） ・学校の要望に応じた I C T を活用した教科等の学習方法（講義、演習）
	【初任者研修】 ・ I C T を活用した1 時間における教科等の学習方法（講義、協議、演習）	【5 年目研修】 ・ I C T を活用した単元全体における教科等の学習方法（講義、協議、演習）	【1 0 年目研修】 ・ I C T を活用した自身の課題解決に向けた教科等の学習方法、考え方を職員に広げる方法（講義、協議、演習）	【ユニット・オーダー研修】 ・ I C T を活用した個別最適な学び、協働的な学びの方法（講義） ・学校の要望に応じた I C T を活用した教科等の学習方法（講義、演習）	【くすのきネットなごやHP（校務用）】 ・満載！授業のアイデアとコツ（ I C T を活用した授業に関する資料） ・教育用資料（「授業づくりハンドブック」、プログラミング教育に関する研修素材等） ・ナゴヤ・スクール・イノベーション（先進校・研究校の事例） 【くすのきネットなごやHP（教員用）】 ・「タブレットを使う一日」 【教育センターNAGOYA】 ・学習指導力をもめる情報（R 2 文科省「S t u D X S t y l e」の紹介） 【ナゴヤ・スクール・イノベーション学習会】 ・個別・協働学習ソフトを活用した指導事例
情 報 モ ラ ル ・ 情 報 セ キ ユ リ テ ィ	【初任者研修】 ・個人情報の書き込みへの配慮やSNSの正しい扱い方（講義）	【5 年目研修】 ・個人情報の管理(人権意識)への配慮（講義）	【1 0 年目研修】 ・情報社会に参画する子どもを育てる上で必要なこと（講義） ・ I C T 機器を正しく使用するために必要なこと（講義）	【コンピュータ講座】 ・情報モラル（著作権、情報漏洩、パスワード、健康への影響等）指導の進め方（講義） ・情報セキュリティ（SNSへの書き込み、個人情報の管理、ネットオークション等）への配慮（講義）	【ユニット・オーダー研修】 ・情報モラル（著作権、情報漏洩、パスワード、健康への影響等）指導の進め方（講義） ・情報セキュリティ（SNSへの書き込み、個人情報の管理、ネットオークション等）への配慮（講義）
	【初任者研修】 ・個人情報の書き込みへの配慮やSNSの正しい扱い方（講義）	【5 年目研修】 ・個人情報の管理(人権意識)への配慮（講義）	【1 0 年目研修】 ・情報社会に参画する子どもを育てる上で必要なこと（講義） ・ I C T 機器を正しく使用するために必要なこと（講義）	【コンピュータ講座】 ・情報モラル（著作権、情報漏洩、パスワード、健康への影響等）指導の進め方（講義） ・情報セキュリティ（SNSへの書き込み、個人情報の管理、ネットオークション等）への配慮（講義）	【くすのきネットなごやHP（教員用）】 ・情報モラル教育に役立つ指導資料（児童生徒体験コンテンツ、保護者啓発資料、WEBサイトリンク集） ・動画を使おう（情報セキュリティ）

※受講者は原則、指導者用タブレットを持参してセンターで研修を行う。 ※ユニット、オーダー研修とは、指導主事や指導員、ICT支援員が各校で行う研修である。

—子どもの未来のために—

コロナ禍の中で小中高生の自殺者数が国内過去最多となり、どの子どもにとってもウェルビーイングが感じられる居場所をつくることが喫緊の課題となっている。このような状況においても、私たち教職員は、子どもが夢に向かって自らの人生を切り拓くことができるように、自己の存在意義を感じて、主体的に学んだり多様な他者と協働したりする教育活動を展開していくことが求められている。

また、子どもの状況を的確に捉え、適切な指導や対応をするために、常に研鑽に努め、資質を高めたり能力を向上させたりしていかなければならない。

一方、近年の大量退職、大量採用の影響により、かつてのように先輩から若手への知識・技能の伝承を円滑に図ることのできない状況が起きており、教職員が学び続けていけるように継続的な研修を充実させていく必要がある。

また、個別最適な学びと協働的な学び、ICTの活用、学校における働き方改革が推し進められている中、校内研修を工夫し、充実させていくことも重要と考える。

そこで、「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成」という基本理念の実現に向けて、名古屋市教員育成指標に位置付けた資質・能力を基に研修体系を整備するとともに、教職員が自ら学ぶ姿勢を持ち続けるために、キャリアステージや職務等に応じた各種研修や校内研修支援を実施し、自主的な研修の促進・補完に寄与するように努める。

教職員研修の基本方針 イメージ

